

暗記用活用表(1)	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	む・ず・ば・は	けり・なる・て・読点	言い切り	体言・なり・なむ～	ど・ども・ば・こそ～	命令言い切り
さ行変格活用「為」	せず	しけり	す	すること	すれど	せよ
未知推量「むず」			為むず	為むずること	為むずれど	
四段活用「行く」	行かず	行きけり	行く	行くこと	行けど	行け
未知推量「む」			為む	為むこと	為めど	
過去推量「けむ」			為けむ	為けむこと	為けめど	
現在推量「らむ」			為らむ	為らむこと	為らめど	
上一段活用「射る」	いず	いけり	いる	いること	いれど	いよ
下一段活用「蹴る」	けず	けけり	ける	けること	けれど	けよ
上二段活用「落つ」	落ちず	落ちけり	落つ	落つること	落つれど	落ちよ
下二段活用「受」	えず	えけり	う	うること	うれど	えよ
受身,尊敬「る」	思はれず	思はれけり	思はる	思はるること	思はるれど	思はれよ
受身,尊敬「らる」	為られず	為られけり	為らる	為らるること	為らるれど	為られよ
使役,尊敬「す」	行かせず	行かせけり	行かず	行かすること	行かすれど	行かせよ
使役,尊敬「さす」	為させず	為させけり	為さす	為さすること	為さすれど	為させよ
使役,尊敬「しむ」	為しめず	為しめけり	為しむ	為しむること	為しむれど	為しめよ
意識的完了「つ」	為てむ	為て、	為つ	為つること	為つれど	為てよ
か行変格活用「来」	こず	きけり	く	くること	くれど	こ(よ)
な行変格活用「死ぬ」	死なず	死にけり	死ぬ	死ぬること	死ぬれど	死ね
無意識的完了「ぬ」	為なむ	為にけり	為ぬ	為ぬること	為ぬれど	
ら行変格活用「あり」	あらず	ありけり	あり	あること	あれど	あれ
形容動詞(ナリ活用) 「静かなり」	静かならず	静かなりけり 静かになる	静かなり	静かなること	静かなれど	静かなれ
形容動詞(タリ活用) 「堂々たり」	堂々たらず	堂々たりけり 堂々となる	堂々たり	堂々たること	堂々たれど	堂々たれ
断定「なり」	為るならば	為るなりけり 何事にかあらん	為るなり	為るなること	為るなれど	為るなれ
断定「たり」	人たらず	人たりけり 人となる	人たり	人たること	人たれど	人たれ

暗記用活用表(2)	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	む・ず・ば・は	けり・なる・て・読点	言い切り	体言・なり・なむ～	ど・ども・ば・こそ～	命令言い切り
伝聞,推定「なり」		為なりて、	為なり	為なること	為なれど	
完了,存続「たり」	為たらむ	為たりけり	為たり	為たること	為たれど	為たれ
完了,存続「り」	為らむ	為りけり	為り	為ること	為れども	
過去の伝聞「けり」			為けり	為けること	為けれど	
眼前推量「めり」			為めり	為めること	為めれど	
形容詞 ク活用 「良し」	良くは 良からむ	良くなる 良かりけり	良し	良きこと 良かるなり	良けれど	良かれ
形容詞 シク活用 「悪し」	悪くは 悪しからむ	悪くなる 悪しかりけり	悪し	悪しきこと 悪しかるなり	悪しけれど	悪しかれ
当然推量「べし」	為べくば 為べからむ	為べく、 為べかりけり	為べし	為べきこと 為べかるなり	為べけれど	
打消当然推量「まじ」	為まじくば	為まじく、 為まじかりけり	為まじ	為まじきこと これぞ為まじかる	為まじけれど	
願望「たし」	為たくは 為たからむ	為たくて 為たかりけり	為たし	為たきこと	為たけれど	
願望「まほし」	為まほしくは 為まほしからむ	為まほしくて 為まほしかりけり	為まほし	為まほしきこと これぞ為まほしかる	為まほしけれど	
比況「ごとし」		為るがごとく、	為るがごとし	為るがごときこと		
打消「ず」	為ずは 為ざらむ	為ず、 為ざりけり	為ず	為ぬこと 為ざるなり	為ねど 為ざれば	為ざれ
主観推定「らし」			為らし	為らしきこと これぞ為らし	これこそ為らし	
反実仮想「まし」	為ましかば		為まし	これぞ為まし	これこそ為ましか	
過去の体験「き」			為き	為しこと	為しかど	
打消未知推量「じ」			為じ	これぞ為じ	これこそ為じ	
尊敬の補助動詞	給はず	給ひけり	給ふ	給ふこと	給へど	給へ
謙讓の補助動詞	給へず	給へけり	給ふ	給ふること	給ふれど	給へよ